

ICON プローブ配列設計のポイント

1. 他のメチル化部位の配列に対応しないかご確認下さい。
またプローブ同士の結合が起こらないように配列にご注意下さい。
2. 目的のメチル化領域内に複数のメチルシトシンが存在する場合でも、対応する修飾ヌクレオチドは1ヶ所を設定していただければ検出可能です。複数挿入は2本鎖の安定性が落ちるため推奨いたしません。
3. プローブの長さは反応・定量のいずれの工程にも原理的には影響しません。モデル配列長は20merです。
4. 修飾ヌクレオチドを挿入する位置は自由に選んでいただけますが、モデル配列としては
 $5' - 4 \text{ base} - \mathbf{X} - 15 \text{ base} - 3'$ がございます。

